

3年間、後援会の活動も思うように行う事ができない中、運営もますます厳しくなっている現状です。  
今年度はスタッフ一同、チャリティ歌謡ショー開催に向け、以前に増して活動していこうと考えております。  
皆様のご協力をお願い致します。

令和5年度  
つばさ後援会事業計画

4月 「あおぞら」発行  
4月～ チャリティー歌謡ショー準備  
4月～12月 会員継続及び増強  
10月1日 チャリティー歌謡ショー開催

社会福祉法人つばさ「つばさ後援会」

いすみあかね園

チャリティ歌謡ショー

香西 かおり

すずき 円香

2023. 10. 1(日)

岬ふれあい会館にて

開場 PM 1:30

開演 PM 2:00

6月26日(月)からチケット販売開始予定(月～金9:00～16:00)

※指定席ご購入の場合は「いすみあかね園」(0470-66-0600)までご連絡下さい。

※開催にあたりましては、コロナウイルス感染症の感染対策の実施にご協力ください。



A 指定席 5,500円  
B 指定席 4,500円  
C 自由席 3,500円

「つばさ後援会」へのご入会をお願いします

個人会員 (年間一口3千円)

法人会員 (年間一口1万円)

入会申し込み、お問い合わせは事務局まで

TEL. 0470-66-0600

FAX. 0470-66-1878



編集後記

さあ、「今年はチャリティー歌謡ショーをやるぞ!」と思って3回中止になり今年で4年目。本当に今年こそは、皆さんにお会いしたいと思います。まだまだ続くコロナ禍ではありますが、私たちの活動が少しでも皆さんの小さな楽しみとなってくれば幸いです。今後もつばさ後援会は、利用者さんの為に地域の方々のご協力お力添えを頂きながら、邁進していきたいと思っております。よろしくお願いたします。

発行所：いすみあかね園 つばさ後援会

住所 いすみ市山田5901

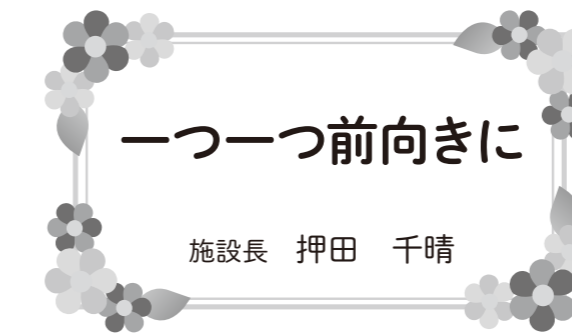
TEL. 0470-66-0600

FAX. 0470-66-1878

あおぞら

No.30

発行日：R5. 4. 1.



新しい年度の始まりに、何か明るい話題を・・・と思うのですが、頭に浮かんでくるのは、「コロナ」の3文字。今年の干支のウサギのように、可愛く元気に飛び跳ねたいのに・・・。気を取り直し、楽しいことを見つけていこうと思います。まずは、お花見にでも行きましょうか？

昨年は12月中旬、あかね園もコロナウイルスの第8波が押し寄せ、まんまと飲み込まれてしまいました。3年弱、クラスターにならず過ごしてきましたが、とうとう・・・利用者さんにはクリスマス会・新年と楽しい行事が待っていたのに。クリスマス会においては、準備も着々と進んでいた中、突然の襲来でした。感染に対しては、マニュアルも整備し準備はしていたつもりでしたが、「いざ」となると一番バタバタ・オロオロしてしまったのは、私でした。

感染者の中に重症化した方も出ず、収束したことは、よかった点と言えそうです。まだまだ長期戦となりそうですが、気を抜かず、基本的な感染対策を守り、そのうえで安心してより充実した施設生活を送る事が出来るようにこれからも、頑張っていきたいと思います。

社会全体を見れば、あらゆるものの値上げラッシュ、身近な生活用品・食料品・光熱費の高騰、中でも電気代の請求書は、毎月びっくりするばかり



です。まずは「節電・節約に努める」が合言葉となり、職員の意識改革に頼るしかないのも現状です。

園の運営を考えれば、利用者さん・保護者・職員と三者三つ巴で日常の活動・生活を支えています。ADLの低下・保護者の高齢化・毎年のように問題点として挙がっています。「今までどおり」が通用しない新しい支援方法・生活様式の実践へと切り替えていかなければなりません。まずは利用者さんへの対応を、日々の中で改善していきます。

保護者の高齢化への対応も、今まで避けてきた部分ではありますが、待たないに考えていかなければならない課題になっています。

その中で、今私たち職員として行うべきことは、何だろうと考えた時に、大きな仕事・目立つ仕事は、誰でも力が入り行うものです。が、ちょっとした日常の些細な仕事にも気を抜かず、忘れることなく、誠実に行うことが大切であり、それを実行しながら日々を積み重ねる事で利用者さんに安心・安全な時間を届けられるように、日々邁進していく事を目標として職員一同頑張っていこうと思います。

最後になりますが、日頃より地域の方々、関係各所の方々、後援会、保護者の方々のご理解とご協力に感謝すると共に、今後とも変わらぬご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。





# 職員紹介

## ●吉野支援員●

● 昨年の4月から縁があり勤務をさせていただいています。

● 担当は、花、野菜づくりをしている外グループで、15人の利用者と共に日々の農作業に取り組んでいます。

● 家は東地区の新田野で、園から車で10分ほどの場所です。今は母親が少し畑をやっているだけですが、元は稲作農家でしたので、農作業自体は苦になりませんが、花や野菜づくりの知識はまるでないので勉強の毎日です。

● もちろん福祉関係の資格も経験もないので利用者への対応も大変不安でしたが、上司の丁寧な指導の下で、今では個々の適性や特徴をある程度知ることができ、皆で仲良く働いています。

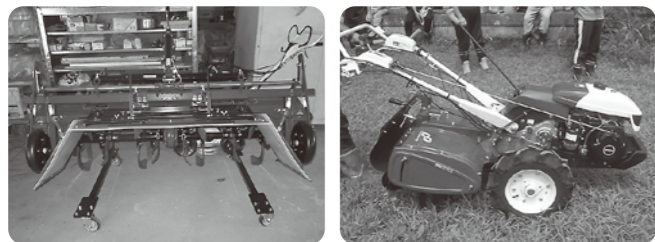
● 私自体も、既に高齢者とカウントされる年齢になり、体力的にも衰えてくると思いますが、定年後の第二の仕事として、これまで得た知識、経験を生かして、少しでもお役に立てればと思っています。



令和4年度

## いすみ市商品開発支援事業補助金

いすみ市の商品開発支援事業に応募し、畝たて機等の農機具の補助金を頂きました。広大なえごま畑等を今まですべて手作業で行っていましたが、作業の効率を上げることでえごま等の収穫量の増加につなげ、いすみ市産のえごま油の増産に繋げていきたいと考えます。



## ●澤地支援員●

● 私は2021年の夏に東京の葛飾から御宿へ移住してきました。そして2022年2月よりあかね園でお世話になり1年が経ったところです。移住前は高齢者のデイサービスに勤めていたため障害者の方々と接することがほとんどなく続けていけるか不安がありましたが、今は楽しいと思える毎日です。

● 環境グループでは日々の作業に加え天気の良い日に散歩やアルミ缶つぶしをしたり、それぞれの季節で自主生産品の作業があります。青梅を選別したり、ふきの葉を切ったり利用者さんができる所を見守りながら一緒に取り組んでいます。クリスマス会が中止になり残念でしたが環境の皆でツリーの飾りを作っていた時は、行事のことを考えてみんながワクワクしていました。

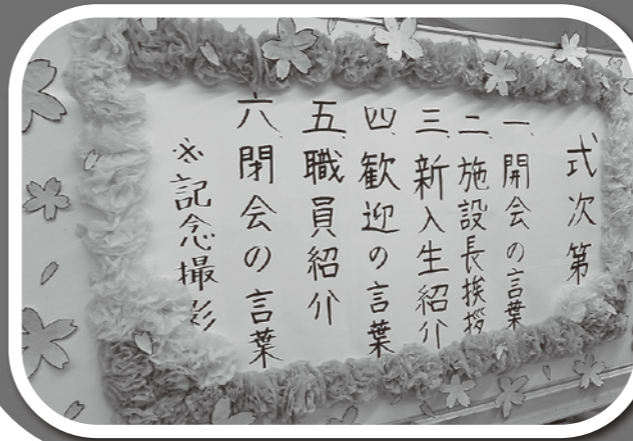
● これからも利用者さんのできることをなくさずに、季節を感じられる活動を考え、皆で楽しく過ごしていけるよう努めます。



## ●上村支援員●

● 昨年6月に入社し、あっという間に半年が経過しました。初めてあかね園を訪れた時、山の中に建つ施設にとっても驚き「自然に抱かれる」という言葉がピッタリの場所だと思いました。環境班に配属され、自分で出来る事は自分で行う利用者の方達の姿に、自身が持っていた障害者のイメージがガラリと変わりました。福祉は未経験の為、最初は何をしたら良いのか分からず、身の置き場に困っていました。そんな私に対し笑顔で挨拶をし話しかけてくれる利用者さん達と接している内に、深く考えるのではなく、まずは楽しもう！という気持ちになりました。転職を機に思いきって飛びこんだ世界でしたが、自分が彼らに教える事よりも彼らの行動や言葉から学ばされる事が多く、障害者支援とは「支える」のではなく、「支えられている」のだと日々実感しています。まだまだ分からない事だらけの毎日ですが「みんなと楽しく」をモットーに一步一步進んでいきたいと思っています。

## 入園式



2名の新しい仲間が増えました。1名は、小学校の時から当園を日中一時を利用していただいていたベテランさん。もう1名も、日中一時を利用していただいていた顔なじみでした。先輩たちも、大歓迎。これからも宜しくね！と声が飛び交いました。



## 夏フェス

コロナとの共存が続く中、なんとか楽しいことをしてみたいと考えたのが

「夏フェス」以前のような大掛かりな行事ではないけれど、利用者さんと職員が楽しく過ごす時間を大切に開催に踏み切りました。まず、室内でのビンゴ大会に盛り上がり、その間風に乗って外から

美味しいにおい……。

待ち切れない思いをこらえながら、外に飛び出し、職員の試行をこらした屋台でおなかを満たしました。もちろん、暑さとコロナ対策はバッチリでした。



## あかね園外壁塗り替えました

外壁の塗り替えをしました。気になっていたヒビ割れや、汚れもきれいにお色直しできました。



## あかね園の行事

- 7月 納涼祭
- 10月 チャリティー歌謡ショー
- 10月 バザー
- 12月 クリスマス会
- 1月 成人式